

2024年3月ハイパーカレンダーレポート

3月末になり、春らしい景色が広がってきた🌸日に日に暖かくなり、その変化がとても心地よく感じている。3月中旬に、大谷翔平選手の結婚が発表されて以来、SNSはこの話題で溢れている。喜ばしいニュースの中で、私が気になったのは、結婚相手が公表されていないにも関わらず、奥様が田中真美子さんであると特定されたことだ。これは、SNS上の「特定班」と呼ばれる人々によるものである。どうやって情報を集め、特定しているのかは興味深く、同時に恐怖を感じた。この現象は、情報社会の複雑さとプライバシーの課題を示していると感じ、情報発信時の慎重さとプライバシー尊重の重要性を再認識させられた。

さて、「3年経ったら起業したい！」と宣言をした日から早くも3年が経ち、私は4月から社会人4年目となる。この3年間を振り返ると、現在は起業したいという気持ちがないことに気づいた。この変化は、様々な経験を通して、自分の未来に対するイメージが変わったからである。

幼い頃から洋服が好きだった私は、ファッションに関連するビジネスを立ち上げたいと考えていた。そのため、社会人1年目から、「ファッションテック👗」をテーマに研究を始め、2年目までそれを続けた。この研究では、「オンライン上での試着」に焦点を当て、アンケート調査や企業の方・学生の協力を得てアプリのプロトタイプ制作等をした。調査研究をするなかで、「これは本当に必要とされるものか？」と深く考えるようになった。そして、起業することは、自分にとって正しい道ではないかもしれないと思うようになったのだ。実際に挑戦して、初めて気づくことや、新たな発見があると強く感じた。

就職して半年経った頃から、おおい AI テクノロジーセンターの活動に参加し始めた。はじめは、打ち合わせ中に飛び交う専門用語が全く理解できず苦戦した。しかし、多岐にわたる活動を経験する中で、徐々に仕事にも慣れ、主に普及啓発と教育活動を担当することになった。教育活動では、大分県内の学生たちと多く関わっている。学生向けの講義は、同世代に行うこともあり、かなり刺激がある。学生から「先生の授業なら毎日出席する！」や「この授業は面白い！わかりやすかった！」といった声を聞くと、教える喜びを実感する。同世代からの評価は特に嬉しく、教えながら自身も学び、新たな発見があって、そういった楽しさも感じられている。なにより、自分の母校で仕事ができることには、特別なやりがいに繋がっている。かつてお世話になっていた先生方からの褒め言葉は恥ずかしいものの、大きな喜びとなる。この仕事を通じて、先生方へ恩返しをするとともに、学校へ貢献していきたい。これらの経験により、自分は教えることが向いているかもしれないと考えるようになった。

この3年間、研究活動や AI センターの活動だけでなく、福岡にある ISIT に出向したり、別府湾会議 2023 の司会をしたりと様々な活動をしてきた。どれも新鮮で、とても刺激があって、成長や自信に繋がった経験だった。その中で少しずつ気づいてきた自分に向いていること。これからは、向いていることの中で「好きなこと🍊」を探していきたい。

(文責：坂口萌々子🍊)